



こころざればよい花が咲く肥料の使い方

ダルマづくり・ジャンボ福助づくり

時期	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
生育状況	親株の管理	サシ芽	4号~5号 鉢上げ	7号定植	花芽分化	着蕾・開花期	
土	さし芽用土 	菊養土 育苗用 又は プレミアム 菊養土 	菊養土 定植用 又は プレミアム 菊養土 	菊養土 増し土用 又は プレミアム 菊養土 	菊養土 	菊養土 	※7号鉢は約4リットル土が入ります ※増し土又はプレミアム菊養土に“くんたん”20%を加えてもよい
乾燥肥料		りんのちから 又はスプレー菊の肥料 	アミノパワー 	15gを10日間隔で全面バラまき	(注)管物は $\frac{1}{3} \sim \frac{1}{2}$ に減らす	※管物は定植後もスプレー菊の肥料、又は菊養源3-7-6がおすすです ※アミノパワーは菊養源6-6-5に置き換えてもよい	
液体肥料	みらい 又は アミノP.K 	発根が始まったら 1000倍で散布 	Pグリーン サシ芽の鉢上げ前、600~800倍でタップリと灌水 	アミノ液肥555 みらいは500~1000倍で5~7日間隔で灌水 アミノ液肥555は1000倍で5~7日間隔で灌水 ※追込時は500倍に濃度を上げ適宜灌水 		みらい 又は アミノPK 1000~1500倍で適宜灌水 (注)管物は2000倍以上	
活力剤		元気に専科 	土に活 	元気に専科・土に活 いずれも1000倍で10日間隔で灌水		天然ミネラル 根いたみ回復 800~1000倍 根の活力向上 	
肥料調整剤	P.Kマグ 	エヌトール 	Pグリーン チッ素過剰症改善 徒長防止500~600倍で葉面散布 又は灌水適宜使用 	※エヌトールは肥料が多過ぎ土に残った場合に適宜使用(500倍) P.Kマグ 10グラム Pグリーン 500~600倍で葉面散布又は灌水適宜使用	P.Kマグ 10グラム 2~3回		
その他	透水源 サシ穂の水揚げ 2000~3000倍 (2~3時間) ★水掛け時 3000~5000倍 	ネフレッシュ 発根促進 根張り向上に サシ芽用土 1ℓに対し20~30g 育苗用土 1ℓに対し20~30g 	キクにキンコン 根に3~4グラムをまがして鉢上げ 	透水源 栽培全期間で使います 灌水時 3000~5000倍 液肥混合 3000~5000倍 ネフレッシュ ※増し土1リットルに対し20~30g ※9月中~下旬の増し土時 根元に10~20g散布 (上根の発生促進に) 	こくなる 1000倍で4~5回灌水 (注)管物は1500~2000倍以上 		

福助づくり

時期	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
生育状況	親株の管理	サシ芽	5号定植	花芽分化	着蕾・開花期		
土	さし芽用土 	プレミアム菊養土 	菊養土 	菊養土 増し土 	菊養土 	菊養土 	※5号鉢は約1.3リットル土が入ります ※増し土又はプレミアム菊養土に“くんたん”20%を加えてもよい
乾燥肥料		りんのちから 又はスプレー菊の肥料 	7~8センチポット 5g 5号に鉢上げ 10g	アミノパワー 2回目以後は 10gを10日間隔で全面バラまき 	(注)管物は $\frac{1}{3} \sim \frac{1}{2}$ に減らす	※管物は定植後もスプレー菊の肥料でもよい ※アミノパワーは菊養源6-6-5に置き換えてもよい	
液体肥料			みらい 発根が始まったら1000倍で散布 	Pグリーン サシ芽の鉢上げ前、600~800倍でタップリと灌水 	アミノ液肥555 みらい 500~1000倍で灌水 アミノ液肥555 1000倍で灌水 	みらい 1000~1500倍で適宜灌水 (注)管物は2000倍以上	
活力剤			元気に専科 	土に活 	元気に専科・土に活 いずれも1000倍で10日間隔で灌水	天然ミネラル 根いたみ回復 800~1000倍 根の活力向上 	
肥料調整剤		P.Kマグ 	エヌトール ※エヌトールは肥料が多過ぎ土に残った場合に適宜使用(500倍) 	チッ素過剰症改善 徒長防止500~600倍で葉面散布 又は灌水適宜使用 P.Kマグ 5~10グラム Pグリーン 500~600倍で葉面散布又は灌水適宜使用	P.Kマグ 5~10グラム 2回		
その他		透水源 栽培全期間で使います 灌水時 3000~5000倍 液肥混合 3000~5000倍 	キクにキンコン 根に3~4グラムをまがして鉢上げ 	透水源 栽培全期間で使います 灌水時 3000~5000倍 液肥混合 3000~5000倍	こくなる 1000倍で4~5回灌水 (注)管物は1500~2000倍以上 		

◎土は“菊養土”又は当社の推奨する土づくりをした場合の肥料の使い方が前提となっています。

